

令和5年度 教育計画 (シラバス)

学科名	学年	教科	科目	単位数
普通科・理数科学科・人文社会科学科	1	芸術	音楽 I	2
教科書		補助教材		
MOUSA 1(教育芸術社)		MUSIC NOTE(啓隆社)		
到達目標	1. 歌唱・・・様々な歌曲に親しませ、曲種に応じた発声や歌唱法を工夫させる。 2. 器楽・・・鍵盤楽器、弦楽器等の楽器に親しみ、さらにそれらを用いて豊かなアンサンブル表現を養う。 3. 創作・・・イメージに合わせて曲を編曲したり、創作したりすることができる。 4. 鑑賞・・・音楽の時代背景や音楽の諸要素に着目させながら鑑賞する能力を養う。			
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度	
	・曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性などについて理解を深めている。 ・創意工夫などを生かした音楽表現をするために必要な技能を身につけ、歌唱、器楽、創作などで表している。	音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて表現意図を持って、音楽を評価しながら良さや美しさを味わって聴いている。	音や音楽、音楽文化と豊かに関わり主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	
学習の評価	<知識・技能>筆記テスト、実技テストで評価する。 <思考・判断・表現>ワークシート、課題等で評価する。 <主体的に取り組む態度>観察、発表により総合的に評価する。			
学習内容(単元・項目)		学習到達目標(評価規準)		
<歌詞に込められたメッセージ> 「校歌」「翼をください」「負けないで」「花」 <世界の歌> 「オー・ソーレ・ミーオ」「おお シャンゼリゼ」 <リズムアンサンブル> Plymouth Rock <鑑賞> 「動物の謝肉祭」「日本の伝統音楽」		・歌詞に込められた思いを感じ取り、作曲者の意図を理解し、表現を工夫している。 ・曲種によって発声を工夫して歌唱している。 ・シャンソン、カンツォーネの特徴を理解し、それぞれの語感を生かして歌唱表現をしている。 ・リズムの特徴を感じながら、ノリの良いアンサンブルを楽しんでいる。 ・楽器や曲の構造を理解し、積極的に鑑賞している。		
<言葉と音楽> 「野ばら」 <世界の歌> 「Amazing Grace」 「荒れ野に御使い」 <劇音楽> 「美女と野獣」「カルメン」 <鑑賞> 「交響曲第9番」「独奏曲」 <バイオリン・トーンチャイムアンサンブル> 「カノン」「きらきら星」「星に願いを」		・歌詞の内容を理解し、言葉のまとまりや言葉のリズム、旋律の動きを結びつけることができる。 ・原語の特徴や発音を意識した歌唱表現をしている。 ・物語の内容と登場人物の心情を理解し、感情移入をして歌唱している。 ・楽曲の時代や背景を理解して作品を味わっている。 ・楽器や曲の構造を理解し、積極的に鑑賞している。 ・楽器の奏法やパートの役割を理解し、アンサンブル表現を工夫している。		
<ヴォイスアンサンブル> 「サザエさん」「ふるさと」 <創作アンサンブル> 「変奏」「編曲」 <鑑賞> 世界の諸民族の音楽		・他のパートとのバランス・ハーモニーに気をつけて合唱表現を工夫している。 ・リズムや拍子の特徴を感じ取りイメージを持って創作を行っている。 ・自分たちのイメージに合った曲を編曲・創作している。 ・世界の諸民族の生活や文化の特徴を理解し、積極的に鑑賞している。		

令和5年度 教育計画(シラバス)

学科名	学年	教科	科目	単位数
普通科 理数科学科 人文社会科学科	1	芸術	美術 I	2
教科書		補助教材		
美術1(光村図書)				
到達目標	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	・対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。 ・意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表している。	・造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	・主体的に美術の幅広い創造活動に取り組もうとしている。	
学習の評価	【知識・技能】 プリントの記述やグループでの話し合いや発表、自己評価表から総合的に評価する。 【思考・判断・表現】 アイデアスケッチ、設計図等から制作物に至る過程、完成した制作物、自己評価表から総合的に判断する。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業での様子や制作物、自己評価表から総合的に評価する。			
学習内容(単元・項目)		学習到達目標(評価規準)		
デザイン「A表現」(2)「B鑑賞」, [共通事項] 点描画の制作		<ul style="list-style-type: none"> ・鉛筆やマーカーの特性を知り、制作に生かしている。 ・点描画の制作工程を理解し、表現方法を創意工夫して、制作計画を基に創造的に表している。 ・黒の濃淡や形、模様など造形的な美しさについて考え、創造的な表現の構想を練っている。 ・集中力を欠かすことなく、表現の可能性に取り組もうとしている。 ・主体的に作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、見方や感じ方を深める鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。 		
作品や美術文化などの鑑賞「B鑑賞」, [共通事項] 多様な絵画表現		<ul style="list-style-type: none"> ・描画材の性質と特徴、表現に与える影響を理解している。 ・造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風、様式などで捉えることを理解している。 ・造形的なよさや美しさを感じ取り、描画材の選択から感じられる作者の心情や意図、創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めている。 ・主体的に絵画作品や背景となる美術文化の鑑賞に取り組もうとしている。 		
絵画・彫刻「A表現」(1)「B鑑賞」, [共通事項] 油彩画「My Favorite Things」		<ul style="list-style-type: none"> ・形や色彩、材料、光などの性質やそれらが感情にもたらす効果、造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。 ・日常生活で触れる事物の中に見つけた美しさや、自らの経験、思い出から主題を生成し、油彩表現の特性を生かし、形体や色彩、構成などについて考え、創造的な表現の構想を練っている。 ・造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めている。 ・主体的に日常生活の事物・事象の中にあるよさや美しさ、自らの経験から感じる心情や思い出の情景を基にした表現の創造活動に取り組もうとしている。 ・主体的に作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の表したい心情などについて考え、見方や感じ方を深める鑑賞に取り組もうとしている。 		
映像メディア表現「A表現」(3)「B鑑賞」, [共通事項] コマ撮りアニメーションを加えたプレゼンテーションの作成「自己紹介」		<ul style="list-style-type: none"> ・コマ撮りアニメーションの種類や特性、画面の変化や動き、素材の造形要素による表現効果について理解している。 ・意図に応じてタブレットや映像メディア機器等を効果的に使用し、表現方法を工夫して主題を表している。 ・自己紹介の構成や展開を考え、アニメーションを効果的に使い、映像メディアの特性を生かして主題を生成している。 ・視覚的な要素の働きについて考え、様々なコマ撮りアニメーションの手法から、主題にあった表現方法を選択し、創造的な表現の構想を練っている。 ・主体的に映像メディア表現の創造活動に取り組み、伝えたい内容を映像表現の特性を生かして表現しようとしている。 ・主体的に作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の伝えたいメッセージや物語性などについて考え、見方や感じ方を深める鑑賞に取り組もうとしている。 		

令和5年度 教育計画(シラバス)

学科名	学年	教科	科目	単位数
普通科 理数科学科 人文社会科学科	1	芸術	書道 I	2
教科書		補助教材		
書 I (教育図書)				
到達目標	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	各作品の時代背景や作者、用筆・運筆等を理解し、自分なりの表現をすると共に基礎的な力を身につける。	自己のイメージを表現するために、授業で学んだ書道理論や筆づかいなどを作品制作でどのように活用するかを考え、それらを生かして創造的に表現できるようになる。	作品を分析的に鑑賞したり、自分のイメージした表現を可能にする運筆の仕方を深く考え、試行錯誤する。細かい作業にも根気よく取り組む。わからないことは積極的に聞く。	
学習の評価	<p>【知識・技能】作品制作の中で、古典の書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解し、基本的な用筆・運筆の技能や古典の線質、字形や構成を生かした表現の技能を身につけているかを作品から評価する。</p> <p>【思考・判断・表現】何を感じ、何を考え、自分のイメージを表現するためにどのように工夫したか、作品が完成するまでの試行錯誤の過程とその結果を作品とレポートから評価する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】授業態度やよりよい作品を作成するまでの試行錯誤の過程や取り組み状況などから総合的に評価する。</p>			
学習内容(単元・項目)		学習到達目標(評価規準)		
漢字の書の学習		<ul style="list-style-type: none"> ・用具について理解するとともに、執筆法に習熟する。 ・漢字の五書体と仮名二書体の歴史を理解し、特徴を理解する。 		
篆刻の学習 楷書の学習 ・鄭羲下碑 ・牛橛造像記 ・孔子廟堂碑 ・九成宮醴泉銘 ・雁塔聖教序 ・顔氏家廟碑 楷書による創作 行書の学習 ・蘭亭序 ・争坐位文稿 ・風信帖 行書による創作 展覧会鑑賞		<ul style="list-style-type: none"> ・篆刻の伝統的美的様式を理解し、姓名印を刻す。 ・楷書の構成美を理解し、硬筆で表現できる。 ・円筆による雄大さを感じ取り、臨書できる。 ・方筆による魁偉な表現を味わい、臨書できる。 ・品格の高さを感じ取り、臨書できる。 ・計算された造形を感じ取り、引き締まった線で臨書できる。 ・特徴ある用筆法を理解し、澄んだ線で臨書できる。 ・筆の弾力を効かせた特異な用筆法を理解し、厚みのある線で臨書できる。 ・2文字から5文字の漢語でふさわしい表現ができる。 ・優雅で貴族的な雰囲気を感じ取り、ゆったりとした調子で臨書できる。 ・激しい感情表現を感じ、直筆で臨書できる。 ・線の太細、文字の大小、緩急など多彩な表情を感じ取り、変化に富んだ表現ができる。 ・5文字の言葉で創作する。 ・作品を直観的・かつ分析的に鑑賞し、感想をまとめることができる。 		
仮名の書の学習 ・用筆 ・高野切第3種の臨書 ・色紙に創作 展覧会鑑賞		<ul style="list-style-type: none"> ・仮名の伝統的な書線美を感じ取り、書くことができる。 ・平明で優美な表現を感じ取り、リズムカルに表現できるとともに、平仮名片仮名の成り立ちや平安朝の表記法が理解できる。 ・優れた散らし書きを鑑賞し、自分なりに構成を工夫し、短歌を散らし書きできる。 ・作品を直観的かつ分析的に鑑賞し、感想をまとめることができる。 		
漢字仮名交じりの書の学習 ・漢字と仮名の調和 ・題字の揮毫 ・自作の言葉を書く		<ul style="list-style-type: none"> ・漢字(行書楷書)と平仮名片仮名の調和を考え、表現できる。 ・書籍やレコードのタイトルを、相応しい書風で表現できる。 ・言葉に相応しい書風や構成を考えて創作できる。 		

令和5年度 教育計画 (シラバス)

学科名	学年	教科	科目	単位数
普通科	2	芸術	音楽基礎研究	1
教科書		補助教材		
高校生の音楽2(教育芸術社)		MUSIC NOTE(啓隆社)		
到達目標	1. 表現・・・曲種に応じた発声や楽器の奏法を工夫させると共に、曲の特徴を生かした表現を工夫させる。音楽の構成や諸要素をふまえた表現を工夫させる。 2. 鑑賞・・・音楽の時代背景や音楽の諸要素に着目しながら鑑賞する能力を養う。			
評価の観点	①音楽への関心・意欲・態度	②音楽表現の創意工夫	③音楽表現の技能	④鑑賞の能力
	音楽を愛好し、音や音楽に対する興味・関心を持ち、意欲的に音楽活動しようとしている。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、音楽表現を工夫しようとしている。	音楽表現を工夫するために必要な技能を身につけ、創造的に表現している。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、よさを味わって聴いている。
学習の評価	1. 筆記テスト、実技テストにより①、②、③を評価する。 2. ワークシートにより④を評価する。 3. 観察、発表により総合的に評価する。			
学習内容(単元・項目)		学習到達目標(評価規準)		
<歌唱> 「糸」 「からたちの花」 「何度でも」 <リズムアンサンブル> 「Clapping Quartet2」 <鑑賞> バロック・古典派の作品		・歌詞の内容を理解し、言葉の語感・抑揚を生かして歌唱表現を工夫している。 ・リズムの特徴を感じ取りながらノリの良いアンサンブルになるように工夫をしている。 ・有名な作曲家の生涯や音楽の構成を理解し、いろいろな種類の曲の特徴を聴き取っている。		
<歌唱> 「うつろの心」 「おれは鳥刺し」 <器楽アンサンブル> トーンチャイム、弦楽器等 <鑑賞> ロマン派・近代の作品		・イタリア語の発音に注意してイタリアオペラのアリアを表情豊かに歌っている。 ・それぞれの楽器や音の特徴や組み合わせに気をつけてアンサンブル表現を工夫している。 ・有名な作曲家の生涯や音楽の構成を理解し、いろいろな種類の曲の特徴を聴き取っている。		
<歌唱> 合唱曲 ヴォイスアンサンブル <創作>オリジナル曲		・個々やパートの役割を理解し、美しいハーモニーを作り出す工夫をしている。 ・協力し合いながら主体的に取り組んでいる。 ・個々のイメージを大切にしながら、積極的にオリジナル作品を作っている。		

令和5年度 教育計画(シラバス)

学科名	学年	教科	科目	単位数
普通科	2	芸術	美術基礎研究	1
教科書		補助教材		
美術2 (光村図書)				
到達目標	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	<ul style="list-style-type: none"> ・美術文化を理解し、個性豊かな美術の能力を高めようとする。 ・個性豊かな表現をするために、表現形式や材料・技法を活用する技能を身につける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・美術についての多様な見方を深め、美術のよさや美しさを味わう。 ・感性や想像力を働かせて美術のよさや美しさを感じ取り、個性豊かに発想して主題を生成し、美的・効果的な表現を構想する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的に美術の幅広い創造活動に取り組もうとしている。 	
学習の評価	<ul style="list-style-type: none"> 【知識・技能】プリントの記述やグループでの話し合いや発表、自己評価表から総合的に評価する。 【思考・判断・表現】アイデアスケッチ、設計図等から制作物に至る過程、完成した制作物、自己評価表から総合的に判断する。 【主体的に学習に取り組む態度】授業での様子や制作物、自己評価表から総合的に評価する。 			
学習内容(単元・項目)		学習到達目標(評価規準)		
作品や美術文化などの鑑賞「B鑑賞」, 〔共通事項〕 さまざまな表現		<ul style="list-style-type: none"> ・学習内容への興味関心を高め、制作や鑑賞への期待をもつことができる。 ・制作された時代や主題が異なる作品を比較鑑賞し、それぞれの制作の技術と表現の関係について理解を深める。 		
絵画・彫刻「A表現」(1)「B鑑賞」, 〔共通事項〕 日本画:植物を描く		<ul style="list-style-type: none"> ・日本画による表現に関心をもち、日本画で表すことの意義や可能性について考える。 ・植物から感じ取った美しさを表現することに関心をもち、主体的に主題を生成して表現しようとしている。 ・日本画の特性を生かして、形体、色彩、構成などを工夫して創造的な表現の構想を練っている。 ・日本の伝統的な美術の表現に関心をもち、日本の美術文化について理解する。 		
作品や美術文化などの鑑賞「B鑑賞」, 〔共通事項〕 生活の中の形		<ul style="list-style-type: none"> ・日常の生活で使用される製品に関心をもち、生活に適した製品を作り出すプロダクトデザインの意味や展開などについて考える。 ・生活の中で目にする製品について鑑賞し、素材や形体の特徴と機能の関係、作者の意図と表現の工夫を感じ取り、生活を豊かにするプロダクトデザインについて理解する。 ・ユーザビリティやエコロジーへの配慮など、現代社会とプロダクトデザインとの関わりに関心をもちことができる。 		
絵画・彫刻「A表現」(1)「B鑑賞」, 〔共通事項〕 油彩画:自分を表現する		<ul style="list-style-type: none"> ・イメージを深めるために様々な発想をこころみ、主題の構想を練る。 ・効果的な表現方法を工夫して、主題を表現しようとする。 ・油彩の技法や用具を表現の意図に応じて活用する。 ・作品の鑑賞を通して、自他の特性や個性について理解を深める。 		
絵画・彫刻「A表現」(1)「B鑑賞」, 〔共通事項〕 形のないものを形にしよう		<ul style="list-style-type: none"> ・抽象表現について理解し、形や構成を構想して創造的に表す。 ・形体、量感や質感、動勢や塊などの造形要素について理解し、創造的な表現の構想を練る。 ・彫刻の材料や用具の特性を理解し、材料や用具を活用しながら表現を創意工夫する。 		

令和5年度 教育計画(シラバス)

学科名	学年	教科	科目	単位数
普通科	2	芸術	書道基礎研究	1
教科書		補助教材		
書Ⅱ(教育図書)				
到達目標	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	幅広い古典の臨書等、経験を通して理解を深めると共に、目的や用途、意図に応じた効果的な表現の技能を身に付けている。	感興や意図に応じた個性的な表現について構想し工夫している。作品の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさ味わって深く捉えることができる。	書を愛好し、書作品や書制作に興味関心を持ち、意欲的に活動しようとする。	
学習の評価	<p>【知識・技能】 毎回の提出物で、古典の見方、基本的な運筆の習熟度を評価する。</p> <p>【思考・判断・表現】 毎回の提出物、発表にどれだけ自分の意図を表現できたかを評価する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 授業や提出物、発表の取り組み状況などから総合的に評価する。</p>			
学習内容(単元・項目)		学習到達目標(評価規準)		
漢字の書の学習 篆書の学習 ・甲骨文 ・金文 ・小篆 隸書の学習 ・乙瑛碑 ・木簡 ・石門頌		・篆書の各書体の歴史を理解し、特徴を感受・分析したうえで、臨書ができる。 ・隸書の歴史を理解し、各古典の特徴を感受・分析したうえで、臨書ができる。		
草書の学習 ・書譜 ・黄庭堅草書詩巻 ・離洛帖 清朝の篆書隸書の学習 ・金農 ・呉讓之 創作 ・漢字少字数の創作 ・漢字多字数の創作		・草書体の書線の特徴を理解する。 ・草書の歴史を理解し、各古典の特徴を感受・分析したうえで、臨書ができる。 ・各古典の特徴と成立の背景を理解し、表現を味わいつつ臨書できる。 ・現代の表現に通ずるものであることを理解し、表現史を体感しつつ臨書ができる。 ・作品を直観的、かつ分析的に鑑賞し、感想を述べることができる。 ・言葉との関連を考えながら創作できる。		
漢字仮名交じりの書の学習 作品鑑賞 創作 鑑賞		・作品を書くにあたり、自分の気持ちをのせられる言葉を選定する。 ・漢字と仮名の調和と用筆・運筆との関わりについて理解する。 ・表現の意図を明確にし、自分らしい表現とはどのようなものか考え、作品を制作することができる。		

令和5年度 教育計画(シラバス)

学科名	学年	教科	科目	単位数
普通科	3	芸術	美術研究	2
教科書		補助教材		
高校生の美術3(日文)				
到達目標	美術の創造的な諸活動を通して、美的体験を豊かにし、感性を磨き、創造的な表現と鑑賞の能力を高めるとともに、美術文化の発展と創造に寄与する態度を育てる。			
評価の観点	①関心・意欲・態度	②芸術的な感受や表現の工夫	③創造的な表現の技能	④鑑賞の能力
	文化遺産や美術文化についての理解を深め、伝統と文化を尊重する態度と新たな美術文化を創造しようとする意欲を高める。	造形的な創造活動の基本となる諸要素の理解を深め、感性や造形感覚と創造的な構成の能力を高める。	対象のイメージや空間を把握し、造形表現の基礎となる観察力と描写力を高める。	文化財や美術作品、作家などについての鑑賞を通して、美術や美術文化を尊重する態度、批評する能力を高める。
学習の評価	1. 課題作品の制作課程とその作品により②、③を評価する。 2. 授業態度と課題の提出状況により①を、鑑賞レポートにより④を評価する。 3. 1の評価に2を加味し、総合的に評価する。			
学習内容(単元・項目)		学習到達目標(評価規準)		
鑑賞 — 日本の美術と文化 東洋・西洋の美術と文化	<ul style="list-style-type: none"> ・文化遺産や美術作品の鑑賞を通して、それぞれの時代による美術の変遷や歴史的背景などによる表現形式の違いを理解する。 ・民族、風土、宗教などの違いによる作品の傾向、作者の意図による作風を理解し、それぞれのよさや美しさを味わう。 			
表現 — 絵画 デッサン	<ul style="list-style-type: none"> ・自然や身近なものを対象として、自己の素直な目で深く観察し、均衡、律動、比例などの美的秩序を確かめる。 ・主体的に対象のイメージや空間、形体などを把握し、美しさを発見する。 ・形体や色彩、材質感などの表し方を工夫し、表現する能力を高める。 			
表現 — デザイン 構成	<ul style="list-style-type: none"> ・形体の性質と空間に果たす機能等について理解を深め、分割や配置などの工夫により、変化と統一のある構成ができるようにする。 ・色彩の体系及び機能等について理解を深め、美的秩序を意図した調和のとれた配色ができるようにする。 ・様々な材料の特性について理解を深め、表現の可能性を追求するとともに、材料と用具とのかかわりについて関心をもち表現効果を高める。 ・形体や色彩、材質などの効果的な使い方を考え、構造や機能を工夫して、それらを総合的に扱い、美的秩序を意図した平面や立体の表現能力を高める。 			
鑑賞 — 現代の美術と文化	<ul style="list-style-type: none"> ・現代の美術が国や地域を越えて人類共通の課題や価値を共有するための役割を果たしていることなどについて理解する。 ・美術や文化が人間の営みの基盤をつくり、生活や社会を心豊かにしていることを深く考え、優れた文化遺産を守り継承していくことの意義を理解する。 			